

「内部質保証体制構築の推進と学修成果の可視化の考えについて」実施報告

学事センターFD 推進担当

タイトル : 内部質保証体制構築の推進と学修成果の可視化の考えについて
 主催 : 上智大学FD委員会 共催 : IR委員会
 日時 : 2019年8月1日(木) 17:20~18:50
 場所 : 6号館4階 6-406教室
 講師 : 江原 昭博氏(関西学院大学 教育学部 准教授)
 出席者 : 29人

内 容 :

講師自己紹介の後、内部質保証についてその必要性、重要性、3つのポリシーを起点としたPDC Aサイクルの構築、時間外学習時間についての昨今の議論、学修成果の可視化、内部質保証の確立について、配布された資料に基づき説明された。なお、大学基準協会に第二期の認証評価においては、受審大学の3分の1に内部質保証に何らかの問題点があることを指摘していることが紹介された。

学修成果については、社会は大学への入学と企業への採用で学修成果を判断している。学修成果について、これだという答えはなく大学ごとの実情に沿った学修成果をみつけたす必要があり。関西学院大学では、学修成果の可視化について具体的に項目を定めたが、次回の講演時に紹介したいと説明された。最後に関西学院大学の長期ビジョンの全体像と目標について説明があった。

その後、講演に対しての、質疑応答が行われた。

以上

